

# Heroldo de HEL 北海道エスペラント連盟

N-ro 69 1997 aŭgusto-septembro

ORGANO DE  
HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

053 苫小牧市宮の森2丁目18-18 星田 淳 方  
HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO  
ĉe Atuŝi HOŝIDA  
Mijanomori 2-18-18, TOMAKOMAI  
053 Japanio

## ENHAVO

Bonvenon ! S-ino Gerda DERCS オランダからゲルダさんが来道 Akiko SUENAGA 末永章子 2 JoSiko KANAMORI 金森美子 3 Sonoko KIMURA 木村園子 4 HEL国際部 宮沢直人 5	
Kroniko de “北海道新聞” 6	
La 82-a U.K - La verdstela standardo en lando kie la suda Kruco briletas - 第82回世界エスペラント大会 -南十字星瞬く国に緑星旗- Suuko OBUKI 小渕修子 8	
Certe multkultura, sed kia pri toleremo kaj justeco ? 立派な大会テーマ、だが現実は？ 82UK (Adelajdo) Acuŝi HOŝIDA 星田 淳 9	
La 61a Hokkajda Kongreso de Esperanto 第61回北海道エスペラント大会開催要綱 11	
Ni vardas VOLONTULOJN ! ボランティア募集 12	
Letero ボランティア募集への手紙 Jukie TAKADA 高田如恵 13	

Danke ricevitaj - 受領郵便物 Acuŝi HOŝIDA 星田 淳 14	
Raporto de la komitata kunveno de HEL (la 7-a) 委員会報告 (第7回) Ejko ABE 阿部映子 15	
Informo お知らせ 旭川でエスペラントミニコミ誌発刊!! 16	

\* \* \* \* \*

El redakto 編集部から  
事務局長及び局員の働きかけの結果、HEL  
会員数が70名を超えました。もちろん道内  
人口から見ると大海の一滴といった数ですが  
やはり少しづつでも仲間が増えるのはうれし  
いことです。  
次のHELの大きな行事は道大会です。大  
会テーマ「街角からの国際交流 Internacia  
Amikigo en kutima Vivo」として、他団体の  
参加も呼びかけています。11頁の大会開催要  
綱と12頁のボランティア募集は、すでにお受  
取りになった方も多と思います。ご協力を  
よろしく願います。  
(Ejko ABE 阿部映子)



Bonbenon, S-ino Gerda!

ゲルダさんは我家にとって、最初のエスペランチストのお客様である。

夫の手作りのブラカードと息子の運転でお出迎え。空港でお会いした彼女は、大きな体に軽やかな旅行スタイル。取り分け、襟元に結んだ赤のハンカチーフと笑顔がチャームポイントの明るくて、お話し好きのおおらかな人。

日本の文化に興味のある彼女のために、我家が即席の茶室と化す。ポットでお湯を沸かし、康子さんが盆略点前をご披露。その作法に見入る彼女。お茶菓子とお抹茶は喜んで味わったが正座は・・・。

夜、ゲルダさんの弾くピアノに合わせて私もハミングでたのしむ。私が「エスパーロ」と「タギージョ」のメロディーを口づさむと、彼女が大きな声で歌ってくれた。エスペラントの歌が、二人のハートをひとつにしてくれた。

ゲルダさんはたっぷりの湯で旅の疲れをとる。畳の部屋の和布団に体を横たえ、日本文化の一端に触れる。一方、私はベッドの中、なかなか寝付かれず。エスペラントでの、オランダと日本のささやかな国際交流。私は、記念すべき一日を思い返していた。

家族の協力を感謝しつつ、心地よい疲れの中でいつの間にか眠りについた、97年7月16日の出来事だった。

Akiko SUENAGA 末永章子

（ まず、札幌市内は VINBEROJ の皆さんが中心となって案内し、北海道大学構内は北大グループが、その後の道内各地はSATの宮沢さんが車で案内し、交歓会やE語宣伝を行いました。



千歳空港で  
末永章子、渡辺康子と一緒に

## ブラハ宣言に一役

私の家にエスペランティストを泊めたのは、一泊のドロシィさんに次いで、二泊のゲルダさんが二人目である。

彼女と同行して気づいたことは、彼女がE語を知らない人達の中にもとけ込んで、生きたE語を自然に宣伝していたことだった。

札幌市資料館の「おおば比呂志記念室」では、オランダの地名の誤りを直してあげたりして売店の婦人と仲良くなったり、コイン交換や記念撮影などをしていた。

また、宮の森シャンツェでは、彼女は表彰台に並んで写真を撮り合っている日本人観光客の所へ行って「Gratulon」と言い乍ら握手を求めた。私は慌てて「E語でおめでとうとオランダ人が云っている」と解説すると、その人達は大変喜んで、私達も表彰台に並んで写してもらうことになった。

また、旭山公園での野外音楽会では、まわりの婦人達が「何語を話しているのか」と質問してきたので、私はE語を説明した。その中にオランダに行ったことがあるという人もいて会話がはずみ、おつまみをいただいたりして親しくなった。

このようにE語を使っていろいろな国の人達と話し合う生きた交流の場を、これからも持ちたいものと思う。私はブラハ宣言の署名活動に消極的だけれども、ゲルダさんのおかげで、E語宣伝が少しでも出来たことを、うれしく思っている。

Jošiko KANAMORI 金森 美子



札幌での歓迎会（参加者は20名程度）





ゲルダさんとは北大の案内ということでお会いできました。南端のクラーク会館を出発し、クラーク像、農学部、理学部、俗に文系長屋、軍艦講堂と言われる所を見、ポプラ並木の方へ行きました。これらの見慣れたものをさて、エスペラント語で何と云うのだろうと辞書を引き引き、悩みながら説明しました。

軍艦=militsipo, "militsipo-aŭditoro",

水田では、rizkampo に azeno じゃなくて、anaso を入れてやる方法があるんです、と四苦八苦しながらの案内でした。たった数時間で、お好きだという歌の話とか、あまりできなかったのですが、おもしろかったです。

(北大グループ Sonoko KIMURA 木村 園子)

文系長屋は、文系の学部の建物が列なっているための俗称。

軍艦講堂は、2階建階段教室になっており外見が軍艦を思わせる(建物の色も暗い)ためにそう呼ばれている文系の講堂。

水田にアヒルを入れて雑草を採るのは自然農法の一つ



# ゲルダさん北海道横断、青森県弘前市へ 97年7月20日~8月1日

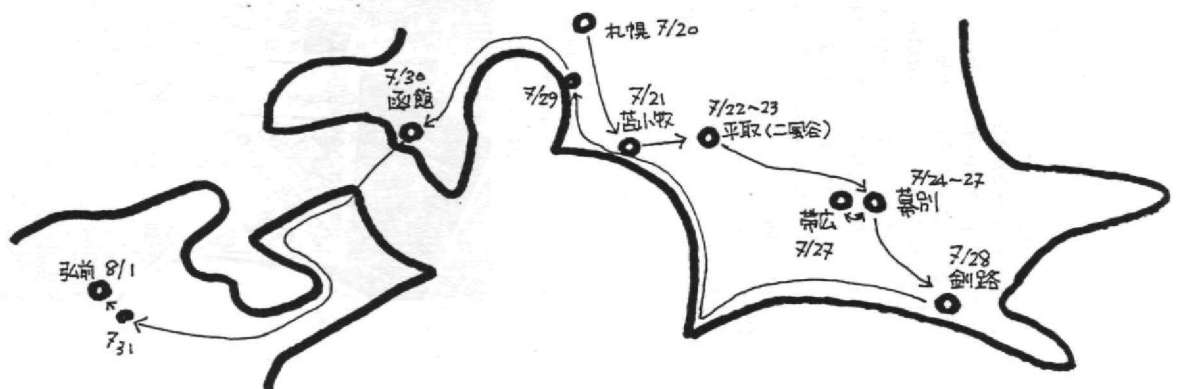
HEL 国際部 宮沢 直人

SES から引き継いで、ゲルダさんの案内を引き受けた HEL 国際部兼次期大会 LKK 宣伝部若干一名は、ここにたくさんのエスペランチストとそうでない人々の親切なお世話を受け、無事その任務を果たしたことを報告いたします。とりわけゲルダさんの宿泊を快く引き受けてくれた、札幌の鈴木佳子さん、苫小牧の影浦さん夫妻、釧路の椿さん夫妻、函館の岩井さん夫妻、そして家族の皆さんに感謝いたします。また歓迎会を開いてくださった苫小牧 E 会、帯広の沢谷さん、函館 E ロンドの皆さん、ゲルダさんもたいへん喜んでいました。

そしてエスペランチストでないにもかかわらず、私たちの滞在を歓迎してくれたのは、二風谷アイヌの山道康子さんとアイヌ語学校の十代の生徒の皆さん、そしてエスペラントに未来はないよと言いながら友人を二十人ほど集めて歓迎パーティーを開いてエスペラント宣伝の機会をつくってくれた帯広の隣町、幕別の長坂農園の皆さんです。

当初、ゲルダさんはエスペランチストの全面的な案内と宿泊のもとでの北海道観光を考えていたようです。私は北海道の運動を考えるならば、ゲルダさんの希望をなるべくかなえながらも、彼女に北海道のエスペランチストのネットワークづくりとエスペラントの宣伝に参加してもらわなければならないと伝えました。彼女はよくエスペラント運動について語り、宿泊や食事についても不満を言うことなく、必要なときには自分で用意するなどしていました。私も彼女をなるべくお客さん扱いたないようにしたつもりです。今度彼女が北海道を訪問するときは、一人で日本の交通機関を利用できるように教育してあげようと思っています。

教訓：事前にお互いの事情と意見を知っておくことが大切です。特にこちらのことをしっかり伝えることは失礼なことではなく必須事項です。国際 FAX は非常に役にたちました。旅行中にも、相手の意見を聞くと同時に自分の意見やこうした方がいいのではないかというアドバイスを行うことが必要です。最後に、今の日本ではいわゆる単純な観光はあまり好きでないエスペランチストがけっこういるということを、外国のエスペランチストにもこれからは知ってもらわなければならないだろうと思っています。



# 「地球語」に取り組む

札幌市内で開かれて  
いるエスペラント語の講  
習会



どの国、民族にも属さない人造語で国際共通(補助)語、地球語などと呼ばれているエスペラント語が誕生して今年で百十年になる。道内でも地道に学習、普及に取り組んでいる人たちがいる。

## エスペラントは今

札幌市中央区のかでま? 「単語がなかなか覚えられ  
・7で開かれているエスベ なくて」と戸惑いながらも  
ラント語講習会。「そのま 「文法はわりやすい」と  
まローマ字のように読んで 話す。和やかな雰囲気だ。  
ください」「形容詞にする エスペラント語は、ポー  
には単語のしつぽを要する ランド生まれのユタヤ人服  
だけでいいんです」。受講 科医L・L・ザメンホフが  
生は講師の言葉を聞きなが 考案、一八八七年に教本を  
ら「テキストの文字を追っ 自費出版した。当時、ポー

ランドはロシア領でポーラ  
ンド人、ロシア人、ドイツ  
人が住み、民族間の争いが  
多い地域で、「どの国にも  
属さないやこい共通語が  
あれば」との思いが込めら  
れていた。



エスペラント語の教本など

### 上達するのは容易

### EUで支持の動き

思った。札幌エスペラン  
ト連盟の宮岸忠孝さん(中)  
は退職後に本格的に勉強を  
始めた。

「単語を一つ覚える、  
自動的にいくつもの単語が  
覚えられる。まず文法から  
学べのが上達のポイントと  
他の言語との違いを説明す  
る。言葉(い)は欧米語か  
らいった語根がもたらさな  
る。宮岸さんはイタリア、中  
国などの仲間と文通。世界  
は大に夢見た。二十世紀に  
期待した。外国人にコンプレ  
ッとしていた。

「英語やフランス語を一  
ば、ほむマスターできる」  
(日本エスペラント学会)  
が、これなら何とかなると  
いう。札幌エスペラント  
会では、二年前、受験英  
クスを極く大きな理由は、  
相手の母国語で話してい  
から。しかし、エスペラン  
トと互いに母国語でない  
ので、遠慮なく聞き返すこ  
とができる」と話す。  
た、ある程度の実用性  
はあるものの、目に見える  
利益につながらない。宮岸  
さんも「戦後、憲法ができ  
たときは国際平和の理念か  
ら支持する人が多かった  
が、今は趣味的になってし  
まった」と残念そうだ。  
一方で欧州連合(EU)  
内では、各言語、文化の平  
等を図るため、エスペラン  
ト語を支持する動きもあ  
る。

エスペラント語



「世界の多くの民族語をつなぐのがエスペラント語」と話す星田さん

### 世界に仲間100万人

「はだしのゲン」翻訳も

エスペラント語の国際組 一九年(大正八年)創立の戦には世界エスペラント協 財団法人・日本エスペラント会(本部・ロッテルダム)ト学会(事務局・東京)があり、百数十カ国に約四 約百の地方会があり、会員 万人の会員を持つ。使用者 は千四百五十人、月刊誌「エスペラント」を発行するほ 諸国、中国などが比較的多 講壇や学術会を開催、 とい。毎年、数千人見 エスペラント図書をテーブ 模の世界大会を開き、講壇 約二千点を取り扱って 研究発表が行われている。

エスペラント語の雑誌や 本は数多く発行・発刊され 同協会と「諸国関係」を結 っており、日本文学では川端 康成、芥川竜之介、星新一 でのエスペラント語の使用 作品のほか、漫画「はだしのゲン」の翻訳本もあ 日本での代表的な機関は いる。また、北京放送、ワル

北海道エスペラント連盟 代表の星田淳(あつし)さん(右)と吉小牧市在住の に、エスペラント語の現状 や活動などについて聞いた。 連盟は一九三三年に設立 されました。会員は現在 七十八人程度。 最近では年配の方が目立 ち、札幌、苫小牧、岩見沢 などでも講習会や勉強会が開 かれていきます。

シャフ放送などがエスペラント語によるラジオ放送を 行っている。

### 最大の長所は民主性

星田淳・道連盟代表

エスペラント語の最大の 目指す「ブラハ宣言」を 長所は民主的な言葉である 表しています。国境の壁が 低くなりつつある今、民族、 は少数派の言語と文化を尊 国家に属さないエスペラン 重し、補助的に使っていま ず。 昨年七月にアラハで開か れた世界エスペラント大会 には五月、インターネットに では、民主的な言語教育を 会とエスペラント語とい



エスペラント語に翻訳された「はだしのゲン」

# 国や民族の壁超えて

### 日本語に近い発音

エスペラント語の母音は a, e, i, o, u の五つで、発音は日本語とほとんど変わらない。子音は 八あり、(c)、(ch)、(ch)、(ch)、(ch)、(ch)、(ch)、(ch) など二部独特のものがある。アクセントは必ず単語の後ろから一番目の母音にある。単語の多くは語尾を規則通りに変えるだけで、品詞を変えることができ。名詞は o、形容詞は a、動詞は i、副詞は e。例えば fino (若) という語根に人を表す接尾辞「u」を付けて「finu nuo」(若者)となり、反義語を作る接頭辞「ma」をつけると「mafinu nuo」(お年寄り)となる。語順は英語に似ており、主語・動詞・目的語・補語が基本形。

「多文化の社会における寛容と正義」をテーマにした第82回U·Kは南十字星瞬く国オーストラリアのアデレードで7月19日から一週間開催され、北海道からは、J E I やT E Kのカラバーノで7名が参加しました。

私のU·K参加は、北京大会以来11年目、2回目の参加です。北京大会では会場までバスで運ばれて、会場の出入は必ずネームプレートでチェックされて、ものものしく緊張したのですが、アデレードでは会場となるコンベンションセンターと滞在のホテルは隣接していて、出入自由で、時間的にもゆとりがありました。

開会式は、先住民アボリジニの伝統楽器と踊りで始まり、ティジュリドウの音は生命の息吹きのように響き、踊りは大地を固く踏みしめて力強く生きてきた精気がみなぎりオーストラリアとESPの夜明けを感じる心打つものでした。

参加者は56カ国から1200人を超えましたが、実参加は800名位で少なめの大会でした。その中でも日本の参加者数は200名を超え地元のオーストラリアと同数位であったようです。エクスクルソはいつも大半は日本人で占められていました。

私が参加した只一つの大会プログラムは「Azia agado」の集りでした。そこでは韓国、ベトナム、ネパール、日本などから活動状況や問題点について報告があり、また、大会の予告と参加要請がありました。

第2回アジア大会は1999年ベトナムのハノイで

第2回国際ヒマラヤ大会は1998年2月カトマンズで

開催されます

中国からは報告者が来ておらず一般参加者の発言のみでしたが、中国での出国の難しさの一端を知りました。

アデレードは札幌によく似ていて、さわやかな気候、整然と区画された街、緑が多く街路樹もプラタナスの実が鈴なりになっていて、その季節を感じたものです。

メイン通りにはいくつもの緑星旗が目について感激！それにはESPERANTOの下に peace, friendship と書かれていて市民にアピール、語りかけるようにひらめき開催国の方々のご尽力を思い一番印象的でした。

来年の世界大会はフランスのモンペリエで開催されます。参加の機会を得ることを望みながら。

^Suuko OBUCI 小渕修子

Certe multkultura, sed kia pri toleremo kaj justeco?

立派な大会テーマ、だが現実は？ 82 UK (Adelajdo)

HOSIDA Acusi

Kiam mi unue trovis la kongresan temon (Toleremo kaj justeco en multkultura mondo) de ĉi-jara UK, mi iom miris, kial oni havas tiun temon en Aŭstralio. Ĉu tio estas celata idealo, aŭ ioma realo en la socio? Certe mi havis ian antaŭjuĝon pro jam delonge aŭdita devizo de la lando, "Blanka Aŭstralio". Tie la mastroj estis blankuloj (eŭropanoj), indiĝenoj kaj ĉiuj neblankuloj estis servantoj al blankuloj—. Tio estis mia malnova impresoj.

En la Sidneja (Sidney) Flughaveno mi jam trovis kelkajn nigrajn, sed ŝajne ne afrikanecajn homojn—aborigenojn. En Adelajdo pli diversajn homojn mi trovis en flughaveno, stratoj kaj restoracioj.

Adelajdo estis ja simpatia urbo kun belaj parkoj, aŭ urbo ĉirkaŭita de parka zono. Min mirigis ekzisto de divergentaj loĝantoj, aborigenaj, aziaj, eŭropdevenaj. Centre de la urbo, ĉirkaŭ la Centra Bazaro (Central Market) troviĝis diversgentaj restoracioj, ĉina, tajlanda, korea, hinda, indonezia, k.a. Oni do povis bone kompreni, ke la vortoj "multkultura mondo" en la Kongresa temo ja estas realo en la Kongresa Urbo!

En la N-ro 4 Kongresa Kuriero LA LUMILO (24 julio) mi trovis strangan artikolon, "D-ro R.L. Harry dankis d-ron Wells. Li komentis, ke ĉiuj aŭstralianoj bedaŭras la malaperon de la tasmaniaj aborigenoj, kiujn preskaŭ tute mortigis la ĉeflandaj aborigenoj antaŭ la alveno de la eŭropanoj." Ĉu vere????? Kial Harry devis danki?

En la libro "AŬSTRALIO LANDO KAJ POPOLO" eldonita en 1927 montras historion de masakroj kontraŭ aborigenoj fare de tiamaj blankuloj, kiuj fine pereigis tasmanianojn, kun detala priskribo en 82 linioj—.

Kvankam multon sentis kaj lernis dum la kongreso, tamen pardonu, ke mi ne havas sufiĉan spacon kaj tempon nun...

\*大会テーマを見て、はてな、とってしまった。昔よく聞いた言葉が先入観になっていたようだ。

「白濠主義」—白人移民しか入国させず、原住民や有色人種は人間扱いされない国—の印象がまだあった。現実はいったいどうだろうか。この国ではこのような大会テーマは未来の目標か、または幾らか現実の反映か。

\*Kongresa Urbo Adelajdoの印象は、もう「白濠

ではないようだな、だった。街を歩く人々を見てもアジア系等非白人の率がかかなり高い。Kongreslibro を読むと、すでに人口の4割近くが非英国系だという。長い間人口調査のときも算入されていなかった先住民(aborigenoj)に平等の市民権を認めたのが1967年、白濠主義が廃止されたのが1973年。「法の下での平等」は日本では憲法14条の、50年の歴史があるが、オーストラリ



アではまだ30年ということになる。現実の生活は、となると何日かの旅行ですぐわかるものでもないが、先住民の物乞いの姿もあり、生活の格差は大きいようだ。

\*開会式は aborigenoj の踊りと音楽——世界最古の管楽器といわれる didgeridoo (Angle:didge-ridoo)の、腹の底に響くような音ではじまった。

\*Kongresa Kuriero LA LUMILO N-ro 4 (24/jul) に不思議な記事がある。John Wellsが、タスマニア島先住民の絶滅は白人到来以前の、本島先住民の虐殺による、と述べたのに対して、オーストラリアの元国連大使Ralph Harry が謝意を表したという。なぜ？

\*その Harryがオーストラリアをエスペラントで紹介した本として KONGRESA LIBRO に AŬSTALIO: LANDO kaj POPOLO をあげている。しかしその内容は Wellsの言葉とは全然違っている。

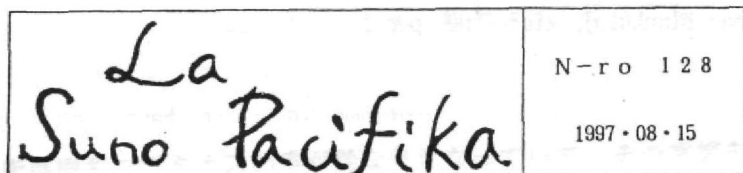
\*入植以来白人が先住民に加えた虐待、虐殺、毒殺などについて述べたあと、その非道の最高ものは、半世紀の間にタスマニア人を絶滅に追い込んだことだ、と82行にわたってその経過を述べている。

\*この歴史を反省してオーストラリア人としての連帯を築こうと、"Aboriginal Reconciliation" (先住民との和解?) のための委員会が、上下両院満場一致の決議で設置されたのは1991年。先住民美術館 TANDANYA にはその関係の資料が積んであった。歴史を統計の数字で示している。

\*白人の入植が始まった1788年、先住民は75万人~100万人いたと推定される。ところが1920年の調査では1割以下の6~7万人に減っていた。(今は約30万人) 日本でもアイヌの昔からの人口を調べればどうだろうか。松浦武四郎日誌などを見ると、似た状況がうかがえる。

\*美術館に展示されていた先住民芸術家の作品の説明を聞いた。線や図形の一つ一つに意味があり、絵は物語りになっている。また作者の気持ちも表すから、宮沢賢治の云う心象スケッチであり、詩とも言える。

\*ニュージーランドでは我々にもなじみの S-ino Rowena MacGillが Christchurch から Auckland まで案内してくれた。気候は冬だが、オーストラリアでもニュージーランドでも気温は零下にならず、平地には雪もなくいろいろな花が咲いていた。



に載った星田夫妻の写真  
(縮小コピーしたので見づらい  
ですが)



(オーストラリアのシンボル・コアラを抱く苫小牧在住の星田夫妻)



# La 61a Hokkajda Kongreso de Esperanto

## 第61回北海道エスペラント大会 開催要綱

1997年11月7日(金)、8日(土)、9日(日)

北海道札幌市北区新琴似及び麻生ノブラザ新琴似、ロンデタージョ

大会テーマ「街角からの国際交流」

主催：北海道エスペラント連盟、

第61回北海道エスペラント大会 札幌麻生・新琴似開催実行委員会

後援：日本エスペラント学会、関西エスペラント連盟、アメリカエスペラント連盟、ウラジオストックエスペラントクラブ、在札幌ロシア連邦総領事館、北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道ユネスコ連絡協議会、(財)札幌国際プラザ、(財)北海道生涯学習協会、北海道新聞社、北海タイムス社、朝日新聞北海道支社、毎日新聞北海道支社、読売新聞北海道支社、NHK札幌放送局、HBC北海道放送、STV札幌テレビ放送、HTB北海道テレビ、UHB北海道文化放送、TVhテレビ北海道、FM北海道、FMノースウェーブ、ラジオカロスサッポロ、新琴似文化振興会

助成：(財)札幌国際プラザ

事務局：001 札幌市北区麻生町1-3-13 宮沢直人方 TEL/FAX 011-717-4189

e-mail: esperant@ka2.so-net.or.jp 佐藤英治方

郵便口座：02700-G-17075 北海道エスペラント連盟

### 大会プログラム

11月1日～6日 大会直前エスペラント教室

「アメリカ人によるエスペラント語、初歩の初歩」

11月7日(金) 青年エスペランチスト交流会

「エスペラントを使った青年による、新しい文化創造・文化交流の可能性をさぐる」

11月8日(土) 社会見学 札幌市下水道科学館

北海道エスペラント連盟総会

11月9日(日) エスペラント祭

エスペラントグループ、国際交流市民グループ、言語サークル、文化サークル

などの展示・発表

講演と討論会

「戦禍に傷ついたサラエボの町と市民の生活」

「異文化交流と言語の役割」

講師 菊島和子 (フリージャーナリスト)

マイケル スローパー (アメリカエスペラント連盟事務局長)

セルゲイ アニケーエフ (ロシア国立極東大学函館校助教授)

参加費：大会直前エスペラント教室 600円

道内エスペランチスト 2,200円

家族参加者及び不在参加者 1,200円

一般市民及び道外参加者 200円

高校生以下 無料

但し、飲食費、滞在費は実費負担となります。

宿泊：原則として民泊、無料となりますが、雑魚寝を避けたい方は旅館を紹介します。いずれにしても、早めにご連絡ください。



# ボランティア募集!

10月1日~11月10日(短期間も可)

## あなたも北海道でエスペラント運動をやってみませんか?

今年、11月7日(金)から9日(日)まで、第61回北海道エスペラント大会を札幌の麻生・新琴似地区で開催します。今回の大会は、地域の人々や札幌の市民運動グループにも呼びかけ、積極的にエスペラントを外側にアピールし様々な運動の出会いの場にもしていきたいと考えています。また参加費の安い大会をめざして、賛同人・団体をつのって賛同金を集めたり、宿舎なども自分たちで用意します。私たちにとって初めての試みも少なくありませんが、内外のエスペランティストの皆さんの協力もおおいでなんとか成功させたいと準備をしています。この機会に北海道に来て私たちの試みを手伝ってはいませんか? また、この場をかりて、ひろく皆さんの北海道大会への参加も呼びかけます。

- 対象：健康でエスペラントが話せる、またはエスペラントに興味のある方。(老若男女国籍は問いません)
- 期間：1997年10月1日~11月10日(この内、短期間のボランティアも歓迎です。また大会後も滞在してのんびりすることも可能です。)
- 人数：20名くらいまで。
- 滞在費：宿泊、食事は無料です。その他の滞在費と札幌までの交通費は原則として本人の負担となります。
- ボランティア内容：ビラ作り、ビラまき、ポスター貼り。食事当番。エスペラント講習会の助手、助講師。宿舎の整備・内装工事(新築の建物に自分たちで改造を行います) その他、実行委員会メンバーと共に大会の準備、運営のための作業。
- 備考：作業はそれぞれの得意分野をなるべく生かしながら分担し、休日・自由時間やレクリエーションも充分とりたいと考えています。



《 問合せ先 》

第61回北海道エスペラント大会 札幌麻生・新琴似開催実行委員会

001 札幌市北区麻生町1-3-13 宮沢直人方 TEL/FAX 011-717-4189

北海道エスペラント連盟事務局

063 札幌市西区八軒10条東2丁目2-11 佐藤英治方 TEL/FAX 011-700-5851

電子メール：esperant@ka2.so-net.or.jp

ボランティア募集の呼びかけに対して、  
実行委員会あてに、三重県の高田如恵さん  
からハガキが届きました

暑中お見舞い申し上げます。

初めまして。沼津エスパーント会の通信講座を終了した者で、  
先日、藤巻さんから、「北海道エスパーント大会」の開催要綱  
を頂戴しました。「ボランティア募集」というところがとても印象的で、  
ぜひ是非行くだけでも飛んで行きたい!! と思いましたが、家の都合で  
今年は見学参加です。せめて...と先日、不在参加費を郵便局  
から払い込ませて頂戴しました。

ボランティアの方々と、北海道エスパーントの方々と、どのように大会  
と準備工作、行われるのか、とても興味があります。ぜひ是非  
ヒントを作って、八ヶ岳のエスパーント館に置く、などということの  
実現が、素晴らしいのには、と思います。是非行って見たいです。  
いつかエスパーント館にも是非行ってみたいと思っています。

文を通じ、知らずに忘れた、程度でしゃべる「ぼんて...  
という私ですか。そして、日本の今のエスパーント運動に  
少々失望もしています。

今回、非エスパーントって  
やはり楽しんで素晴らしい  
ものかと見直しています。

大会の成功を心より  
お祈りしています。

1997. 7. 26.

「桃とクワガタ」・堀川えい子 画

\*LA TANTAMO: 第281号(1997年6月号)

横浜エスペラント会(JER), A5 X16頁、日本文。  
hamaronda vespero(会員の趣味・特技発表会)、  
姉妹都市オデッサから迎えたstudentinoのこと、  
読書会の報告、感想など、内容豊富。活発な活動を  
反映して当然、ではあるが。

\*Novajoj Tamtamas:n-ro126, junio 1997,

A5 X 8頁、全文エスペラント (JER),

\*本当の交流を見せてあげよう La 16-a Komuna  
Seminario de Esperanto-Junularoj開催のご案内  
(Japano Esperanto-Junularo 日本青年エスペラ  
ント連絡会) 8月15~17日の間韓国で行われる  
行事。3日間の宿泊食費が1万円ちょっと。

\*エスペラントは世界を結ぶ: 文 大原たかし、  
絵 大原歌子、A5 X 121頁+図版8頁、日本語。  
1985年に出した「エスペラント国世界旧婚旅行」  
の続編にあたり、1987年のエスペラント誕生百周  
年の世界大会から97年の第1回アジア大会までの  
世界のEsp-ujo との交流を描いている。

\*LA VERDA TERO: ORGANO de NORD-ORIENTA ESP-  
LIGO:N-ro 42, Junio, 1997:Redaktita de Ihat-  
ovaj Esperantistoj:B5 X14頁のうち8ページを  
占めるエスペラント文は、第37回東北大会報告、  
Satō Reikoの東欧旅行記、SANPEI Keikoのサラエ  
ボ訪問記。

\*La Movado N-ro 556, jun.1997, B5版16頁の内  
エスペラント文1頁は、いつになく少ない。  
Salono欄に「獄中十八年」と長谷川テルの題  
でカワハラ・カズヤがほぼ1ページにわたって論  
じている。

\*La Movado N-ro 557, jul.1997, B5版20頁の内  
エスペラント文は計約1頁。

\*受講生通信 第53号 1997-07-02:沼津エスペラ  
ント会通信講座: B5X8頁、日本文。

\*Diaj Vojsignoj(internacia eldono): verkita  
de DEGUI Onisaburo, eldonita de EPA(Oomoto)  
A5版174頁、大本教典「道の栞」エスペラント版。  
本文の前に Antaŭparoloと Por legantoj が設け  
られて、キリスト教など一神教と異なる日本独特  
の宗教概念についてのいい解説になっている。

\*Hokkaidō Rōmazi Kenkyū No.93 (復刊67)

北海道ローマ字研究会発行, Hs.9n.7gt.3Int.

\*Mejlŝtono JULIO '97 NUMERO 142, 仙台E会  
B5X10頁。のうちエスペラント文4頁。内2頁は  
KAWAHARA Kazuya の Aliaj informoj pri Tanza-  
nio. 同E会の Samideaninoの最近の訪問記に対し  
て、その土地の人の目で見た報告の紹介。

\*NOVA VOJO:1997.7/8(N-ro 321 jul-aŭg), 大本  
エスペラント普及会, A5 X32頁、内エスペラント  
文6頁。「教典翻訳がエス語訳である理由(3)」  
では前記の Diaj Vojsignoj の翻訳について。

\*VERDA MONTETO:Julio, Augusto 1997, WAKAYAMA,  
N-ro 95;変形B5版(二つ折りで定形封筒に入る)  
X 8頁のうちエスペラント文1頁、巻頭に「エス  
ペラントで、もっと姉妹都市交流を!と江川治邦  
が書いている。

\*NODE (ノード) 2号 1997. 7・8月号: 市民  
グループ I N D E X に北海道エスペラント連盟が  
紹介されている。

\*Al Vi Kara:N-ro79(1997Aŭg.), 京都エスペラン  
ト会, B5 X24頁のうちエスペラント文は2頁。お  
まけなしの旅・ポーランド(田平正子)の連載始  
まる。「エスペラントとインターネット」が連載  
中。なお RH(Rondo Harmonia) が5月3~5日に  
岐阜市で開いた「インターネット時代の国際語セ  
ミナー」は参加者81名の盛況だったという。

\*センター通信: 1997年8月4日名古屋エスペラ  
ントセンター発行 N-ro198, B5X8頁、日本語。

## 第7回委員会報告

[日時] 8月20日(水)午後6時40分～9時半

[場所] 札幌駅西側パセオ1階レストラン「しゅがあぼっと」

[出席者] 星田 淳、サトウエイジ、後藤 義治  
宮沢直人、阿部 映子、鈴木佳子

### [議事内容]

#### \*財政問題

今年度これまでの支出状況は、新年学習会及び合宿は黒字となっている。しかし、会員拡大のために未入会者への機関紙及びHEL入会案内送付によって支出金額が増加。また、道大会のための準備でポスターやリーフレット等作成及び会場費等前払で一時的に立替が必要となったため会計から事務局へ仮払。個人的に立替えて支払っている分を至急解消して経理を明確にする必要がある。

#### \*事務局報告

##### 1 会員拡大

未入会者へ働きかけた結果、会員数は現在72名となった。

##### 2 宣伝活動

オランダからゲルダさんが来道し道内(札幌～苫小牧～平取～幕別(帯広近郊)～釧路～函館)を周ったのにあわせて1部地域で歓迎会やエスペラントの宣伝(プラハ宣言のチラシ配布、J E Iリーフレット「エスペラントは世界のことば」配布、図書館へのエスペラント図書寄贈)を行う(5頁参照)。

プラハ宣言のチラシは、SAT札幌の会員が出かけた先(岩見沢、稚内、福岡、東京)でも配布した。

北海道新聞7月7日夕刊に、エスペラント紹介の記事が載る(6頁～7頁参照)。

8月21日からの苫小牧市公民館まつりに苫小牧エスペラントが展示。なお、星田会長は8月26日に苫小牧ロータリークラブでエスペラントについて講演の予定とのこと。

##### 3 地方会での学習会活動、

函館では、2週間に1回集まっている(4人くらい)。

札幌では、これまでどおり数グループに別れて毎週土曜日にSESの学習会開催。入門コース(講師は宮岸)は復習者も含め5～6人。Rondo Vinberojも定期的集まっている。

北大グループは、現在3人で毎週木曜日に集まっている。但し今は夏休み中。

SAT札幌は毎週火曜日に集まっている。

苫小牧も、これまでどおり毎週苫小牧市公民館で学習会開催(入門コース1名)。

##### 4 プロイェクタテアーモ

7月21日、第3回プロイェクタテアーモをゲルダさんの訪問の際に苫小牧市で開催した。

#### \*LKK報告

大会ピラ(2万枚)、大会ポスター(1千枚)開催要綱付ボランティア募集ピラ(1千枚)を作成して宣伝している。

大会プログラムは大会要綱(11頁参照)のとおりで、11月9日のエスペラント祭には、エスペラントグループ以外の国際交流市民グループ、言語サークル、文化サークルの参加を呼びかけており、参加人数は、道内エスペラント50名、一般参加者300名を目標としている。また、団体、地元企業等からの、助成金、賛同金についても現在呼びかけている。

LKKと事務局が協力して、連盟員への協力要請

☆ ビラ、ポスターを公民館・図書館・学校  
などに貼ってもらう

☆ 文通相手へのボランティアビラの送付

☆ エスペラント支持者に賛同を訴える

☆ 興味ある人に参加を呼びかける

☆ エスペラント祭への企画参加

☆ 大会への早めの参加申込み

\*次回(第8回)委員会

8月20日(水)午後5時~

喫茶店「ひらひら」北区北18条西5丁目

(地下鉄南北線北18条駅から西側へ徒歩

2分程度 電話746-2801)

議事内容 道大会及び連盟総会の内容及び  
準備について等

委員以外の方の参加歓迎

(なお、当日はSESの学習会が午後1時  
~4時にカデル2・7の女性プラザ6階学  
習室Aで開催されるので、学習会終了後、  
時間に余裕のある方は是非委員会にも参加  
ください)

☆☆☆☆

Informo お知らせ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪

旭川でエスペラントミニコミ誌発刊!!

最近HELに加入された天方さんから

1997 AUGUSTO SOLPAROLO N-ro 1  
が送られてきました。B5 X2頁 (B4片面印刷)、  
全文エスペラントです。「私のE作文力および  
内容につきまして、ご意見等いただければ幸甚  
です。なお、不定期、無料でお送りします。」  
とのこと。第1号の内容は RENKONTO KUN  
ESPERANTO と題して筆者のエスペラント体験を  
書いています。発行元は次の通り。

078 旭川市東光8条2丁目2-20-202 天方良彦  
TEL・FAX:0166-31-8744

♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪



POSTAGE PRE-PAID AUSTRALIA



FOR POSTING IN AUSTRALIA  
AND DELIVERY WORLDWIDE



Heroldo de HEL

第69号(1997.9.8)

北海道エスペラント連盟機関紙  
編集部

〒001 札幌市北区北12西1パークMS602

阿部映子気付(電)011-756-2291

郵便振替口座

02700-6-17075

北海道エスペラント連盟